



水道事業ビジョンと経営戦略

「建設・拡張の時代」から「維持管理の時代」に完全移行
人口減少の加速（水需要が減少）が確定的な中、
持続可能な水道事業の運営に取り組む必要がある

「水道事業ビジョン」（厚生労働省）

「水道事業ビジョン」作成の手引き

- ①水道事業の現状評価・課題
- ②将来の事業環境
- ③地域の水道の理想像と目標設定
- ④推進する実現方策
- ⑤検討の進め方とフォローアップ

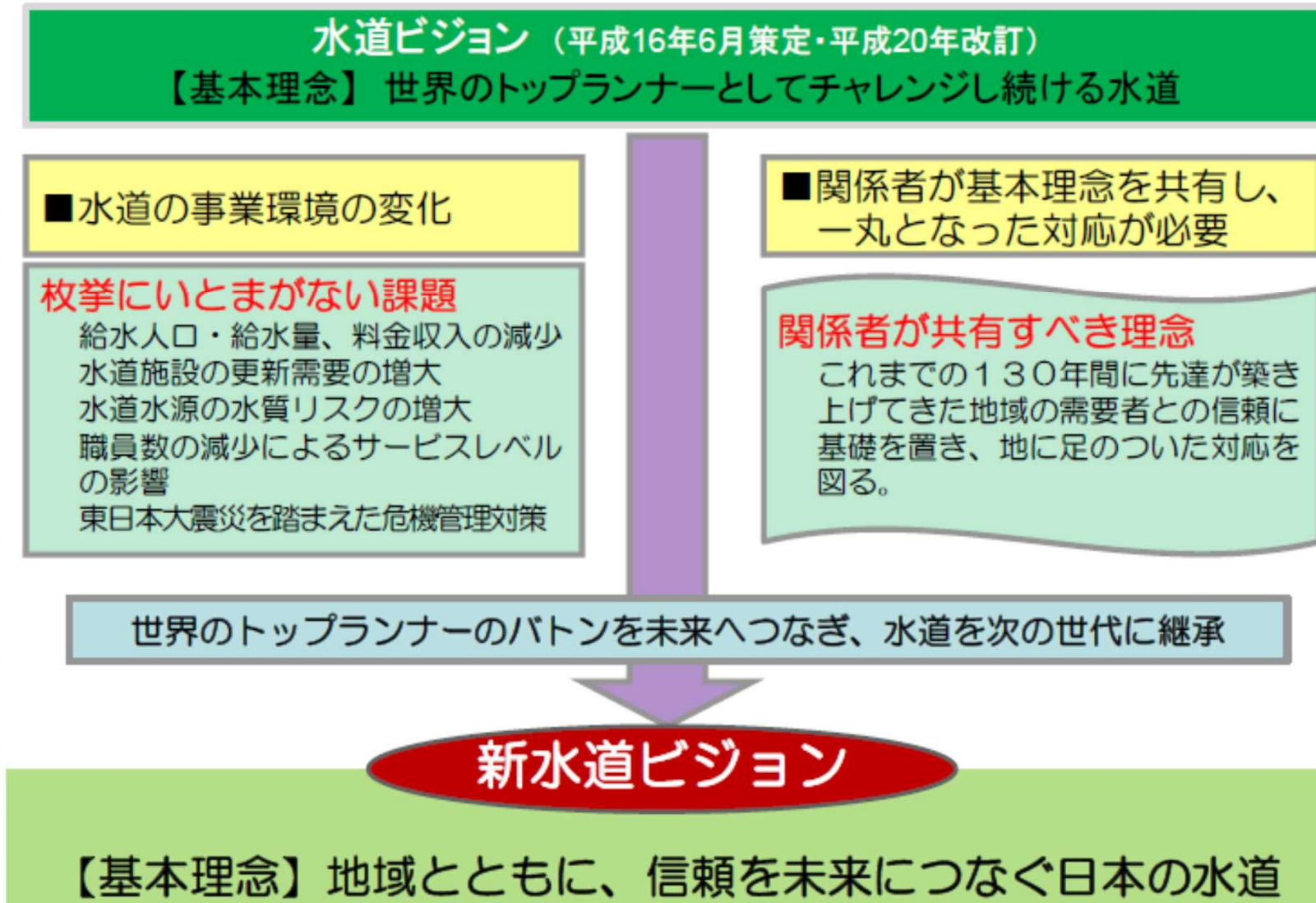
「経営戦略」（総務省）

経営戦略策定・改定マニュアル

- ①事業概要
- ②将来の事業環境
- ③経営の基本方針
- ④投資・財政計画（収支計画）
- ⑤事後検証、改定等に関する事項

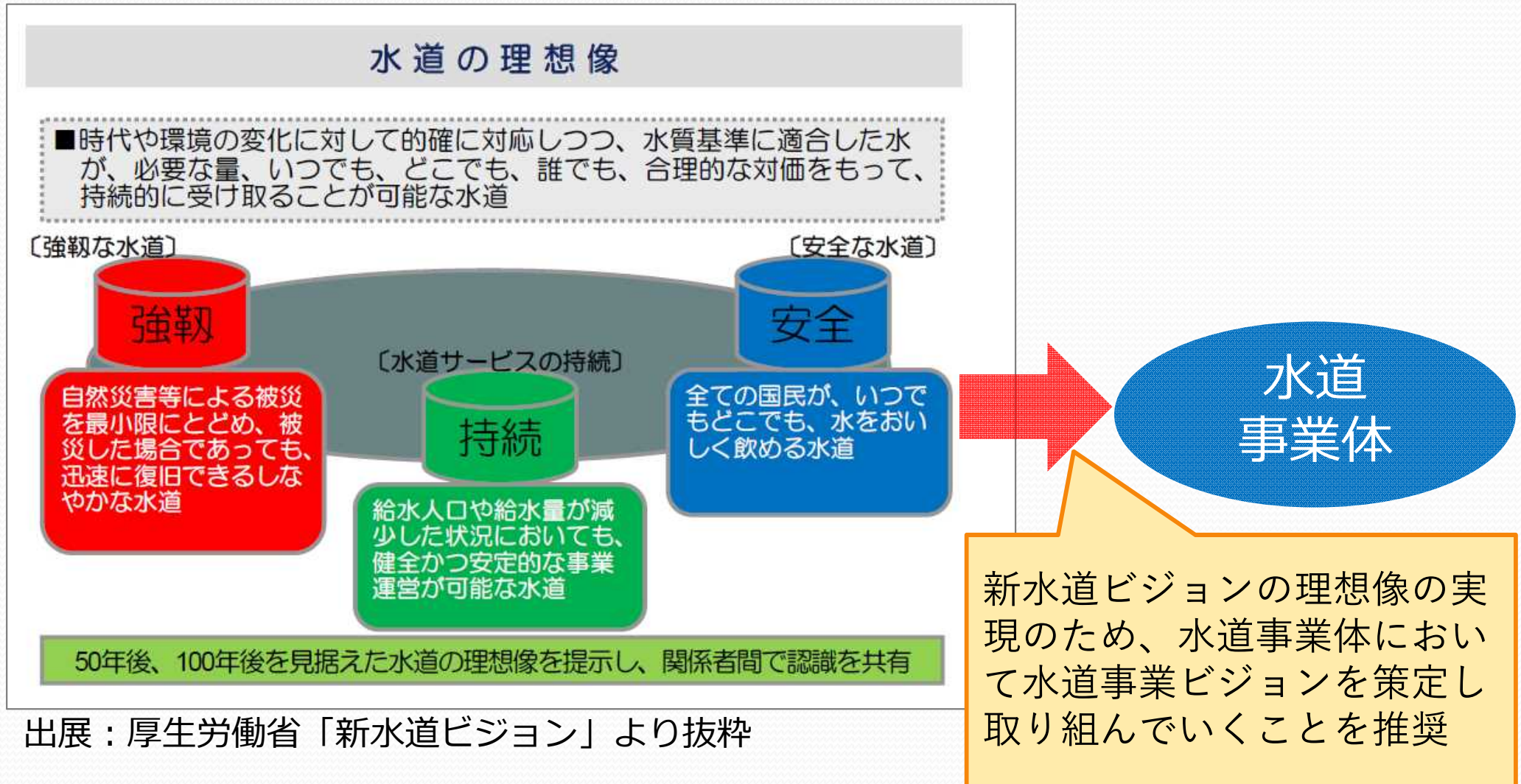
水道事業体に対し策定を推奨・義務づけ

新水道ビジョンと水道事業ビジョン



出展：厚生労働省「新水道ビジョン」より抜粋

新水道ビジョンの実現のため、 各事業体に水道事業ビジョンの策定を推奨



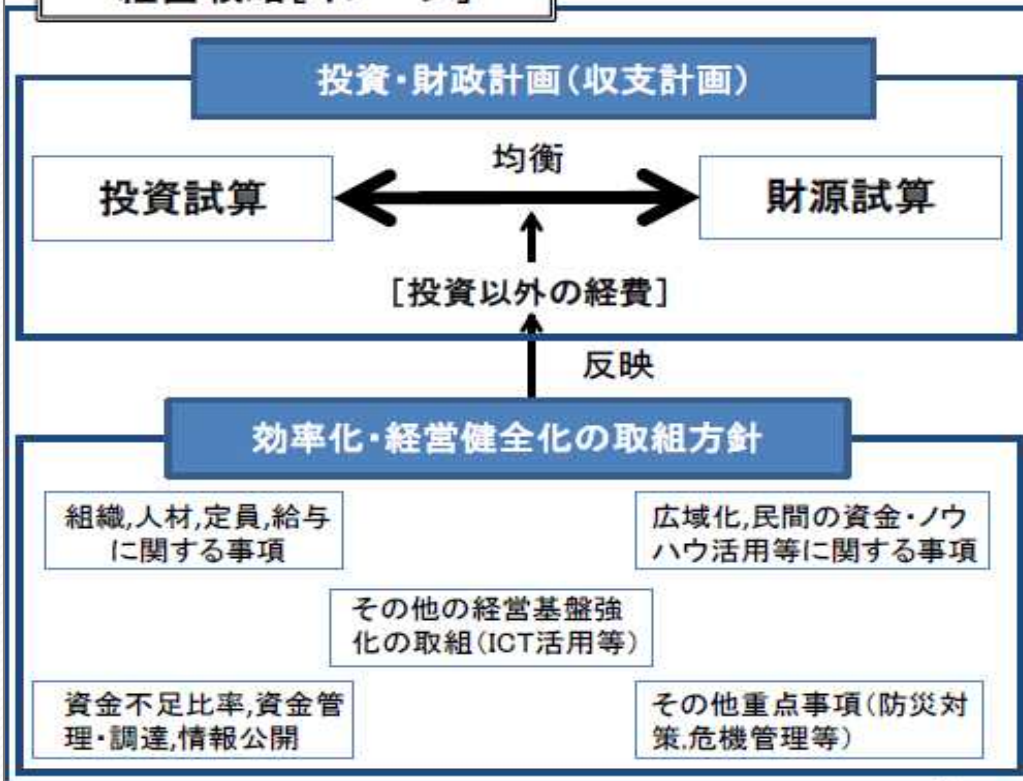
出展：厚生労働省「新水道ビジョン」より抜粋

経営戦略とは

「経営戦略」についての基本的な考え方と構成

- 「経営戦略」は、各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画。
- 「経営戦略」は、「投資試算」(施設・設備投資の見通し)等の支出と「財源試算」(財源の見通し)を均衡させた「投資・財政計画」(収支計画)が中心。
- 組織効率化・人材育成、広域化、PPP/PFI等の効率化・経営健全化の取組方針を記載。

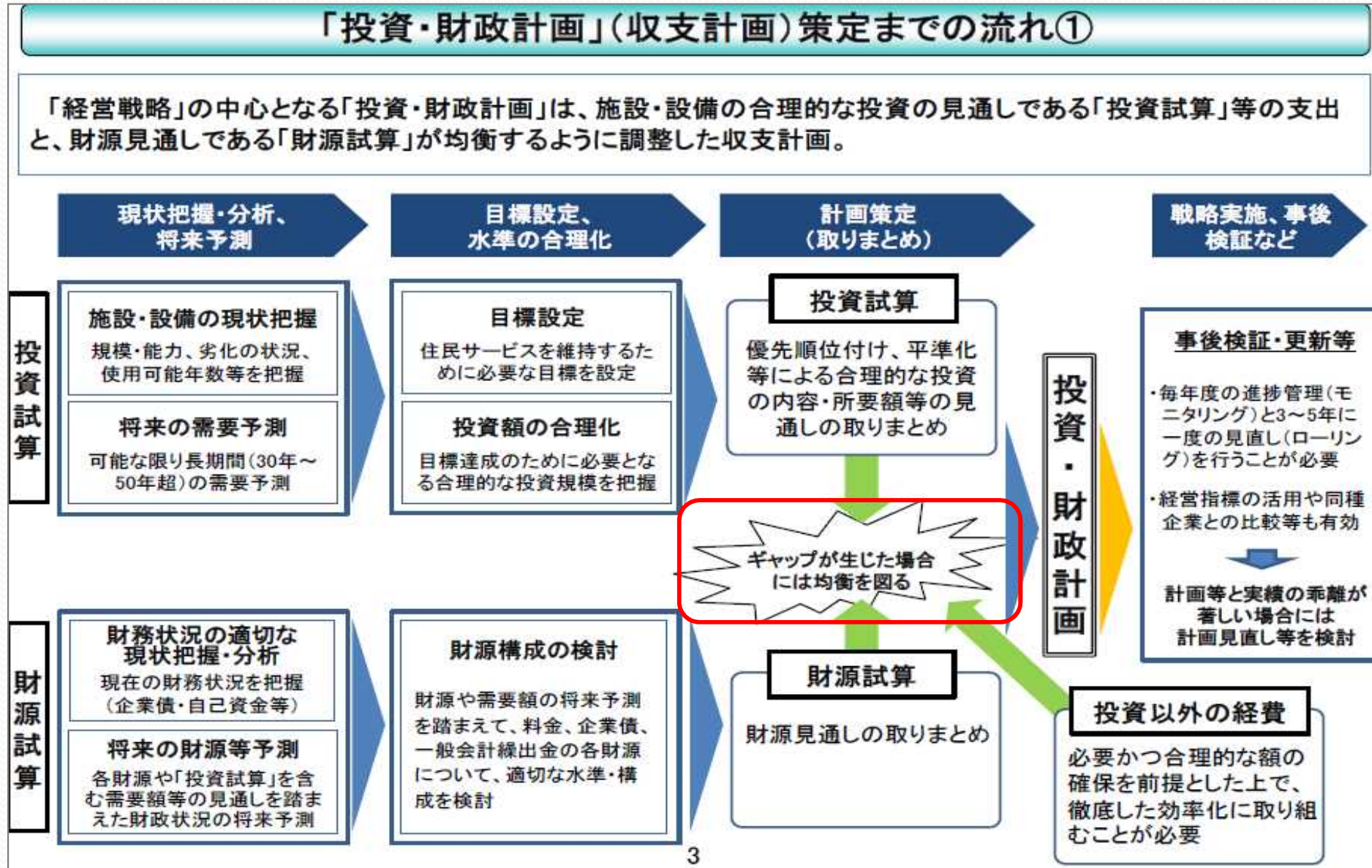
経営戦略[イメージ]



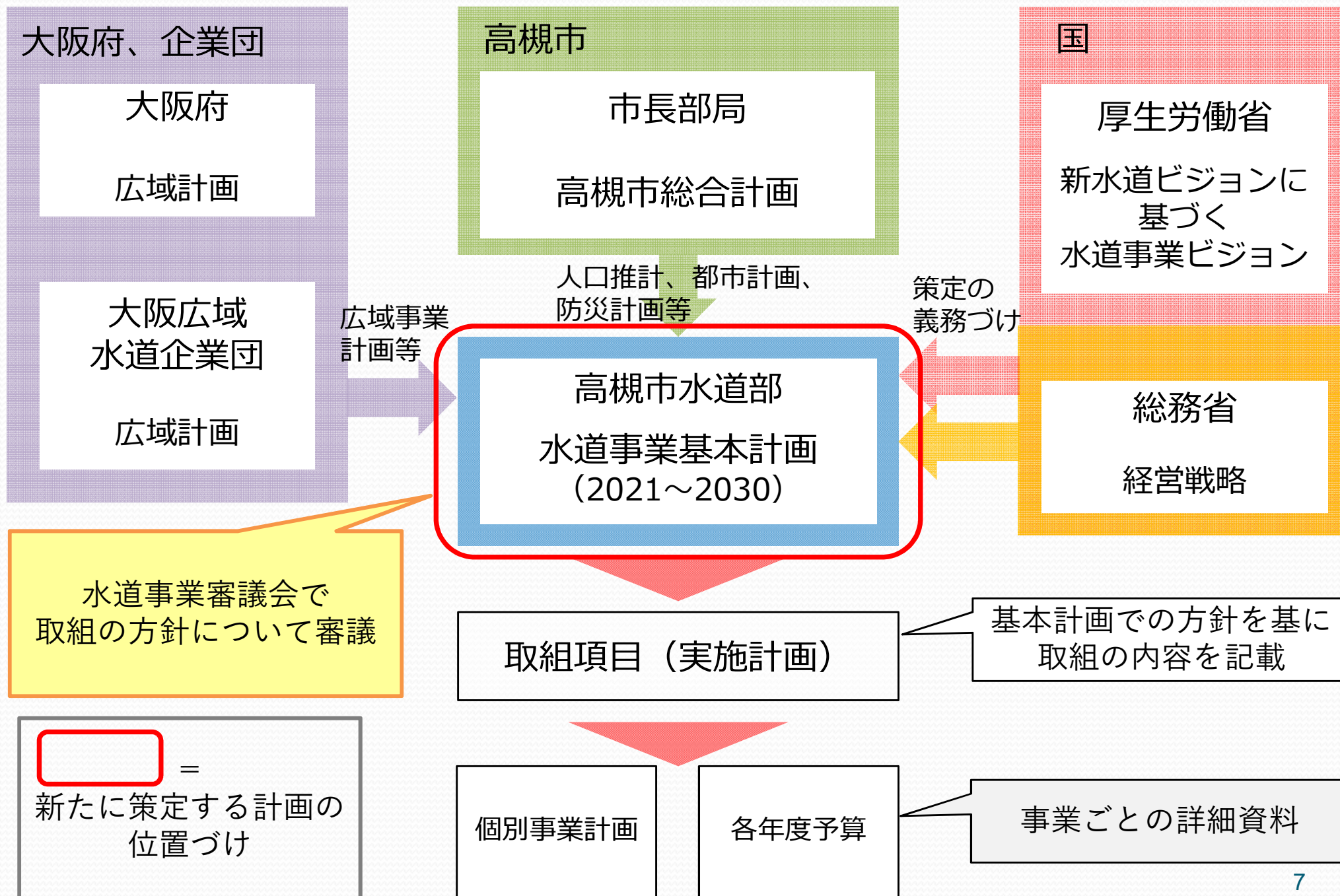
経営戦略の特徴(想定)等

- ① 特別会計ごとの策定を基本とすること。
- ② 企業及び地域の現状とこれらの将来見通しを踏まえたものであること。
- ③ 計画期間は10年以上を基本とすること。
- ④ 計画期間中に必要な住民サービスを提供することが可能となっていること。
- ⑤ 「投資試算」をはじめとする支出と「財源試算」により示される収入が均衡した形で「投資・財政計画」が策定されていること。
- ⑥ 効率化・経営健全化のための取組方針が示されていること。

経営戦略の中心的要素（収支均衡）



水道事業ビジョンと経営戦略



次期計画策定の考え方（「水道事業ビジョン」と「経営戦略」を網羅）

「水道事業ビジョン」（厚生労働省）

「水道事業ビジョン」作成の手引き

- ①水道事業の現状評価・課題
- ②将来の事業環境
- ③地域の水道の理想像と目標設定
- ④推進する実現方策
- ⑤検討の進め方とフォローアップ

「経営戦略」（総務省）

経営戦略策定・改定マニュアル

- ①事業概要
- ②将来の事業環境
- ③経営の基本方針
- ④投資・財政計画（収支計画）
- ⑤事後検証、改定等に関する事項

（仮称）高槻市水道事業基本計画

記載内容（案）

- ①策定趣旨
 - ・ 策定の背景
 - ・ 計画の位置づけと計画期間
- ②現状評価と課題
 - ・ 高槻市の水道の概要
 - ・ 水需要、施設、経営の状況
 - ・ これまでの取組と進行状況
 - ・ 残っている課題
- ③将来の事業環境
 - ・ 水需要、経営の見通し
 - ・ その他影響が想定されるもの
- ④目指す姿と方針
 - ・ 目指す姿（理想像）
 - ・ 方針（**持続**、**安全**、**強靱**）
 - ・ 目標
- ⑤進行管理と公開（公開、PDCA）
- ⑥財政収支計画
- ⑦資料と用語